

患者サービス委員会について

副院長（患者サービス委員長） とくだ かずひこ 得田 和彦



患者サービス委員会の目的



ブラックジャックという漫画をご存知でしょうか。手塚治虫氏の作品で、天才外科医があらゆる難病を一人で治してゆく作品です。これに憧れて外科医になった医師も多かったと思います。誰もできないことをたった一人で成し遂げる、まさにヒーローです。

しかし、高度に発達した現代の医療ではありえない話です。医師が一人で治療を行うということはありません。世界中の専門医が研究を重ね、繋がり、最も適した診断法・治療法が提示されています。当然、労災病院内の医師も世界と繋がっています。そして、労災病院の医師全員がすべての患者さんの治療にかかわっています。もちろん医師だけで治療を行っているわけではありません。看護師は、身の回りの看護や投薬・採血などを行っています。薬剤師は、投薬の種類や量が適切であるか、相互作用がないかなどの検証を行い、最も適した投薬が行われる様に努力しています。歩行訓練や嚥下訓練などは理学療法士・作業療法士・言語療法士が行い、正確な検査結果ときれいな画像は、検査技師と放射線技師によるもので、最適な食事内容を決めるのは栄養士です。また、他病院や社会全体との連携をとるのは医療ソーシャルワーカーで、病院の骨格を担うのは事務職員です。即ち、労災病院の職員全員が手を取り合い、大きな輪を作り、質の高い医療を提供し続けています。いわゆる『チーム医療』です。

しかし、これだけでは満足できる医療サービスとは言えません。この大きな輪の中に患者さんにも入ってもらう必要があります。これで本当の「チーム医療」が完成します。

具体的には、患者サービス委員会を立ち上げ、患者さんと職員からのサービス改善のためのご意見を収集し対策を練り、また職員に対する接遇に関する教育や研修を実施しています。

皆様の貴重な意見を教えてください。不満、要望、アイディアなど何でも構いません。そして、チーム全員が満足できる病院を作り上げましょう。



クリスマスツリー飾りつけ等も患者サービス委員会で行っています。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページ（URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>）

にも掲載しています。

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280（病院代表）

E-mail chiiki2@toyamah.johas.go.jp



バックナンバーはこちらの

QRコードからも確認できます。